

3. オンデマンド

経営戦略論
社会文化デザイン演習Ⅰ
経済理論・経済史特殊講義 B
広告心理学
追手門UI論E
行政法 A
狂言の世界
福祉心理学
産業組織心理学

担当教員	石井 竜馬
対象	経営学部経営学科 3,4
受講者数	200 名程度

授業の概要	15 回の開催回について、トピックを設定し、20～30 枚程度のパワーポイント、授業動画、WebClass 上での即時採点フィードバック可能な確認テストの 3 点セットを基本として設定している。パワーポイントの理解に 1 時間強（予習）、動画の受講（90 分）、確認テストを満点が取れるまで反復練習（ほとんどの学生が 3 回程度反復）（30～40 分）がモデルケースとなる。確認テストは授業内容に準拠しており、設問レベルは大学院レベルも織り込んで非常に高いが、パワポと授業動画の視聴で比較的負荷なく正答できるようになっており、学生の達成感が高い。もちろん全学生にその場で正答と得点がフィードバックされる。WebClass のログを見ると反復して動画を視聴しトータルで 3～4 時間以上かけている学生も増えてきた。対面授業では学生が数回の欠席をすることも考慮に入れて講座を設計するが、オンラインでは一度の欠席も許されず、ストーリーとして全体の講座が完結・完成する一体感も学生とともに得られるし、学生も 24 時間、自分の好きな時に学べるので、学びの楽しさを初めて知ったという学生も増えている。
ツ　　ール	✓ WebClass □ Webex □ Zoom □ Mediasite □ YouTube □ LINE □ その他 (グーグルリアルタイムファイル共有、スカイプ、グーグルハンアウト)
ある コマの 授 業 プ ラ ン	授業の概要をご参照ください。
エ 夫 し た 点	学生相互の意見交換の機会として WebClass のチャット機能を活用している。
今後の改善点	

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ	
CSV を活用した WebClass の自作テストはインタラクティブ性を担保しつつ、教員の負荷も劇的に削減され、採点の透明性なども確保、学生の授業の満足度も上がります。	

社会文化デザイン演習 I

担当教員	石川 俊介
対象	社会学部社会学科 1,2,3,4
受講者数	30名

授業の概要	「ファンとは何か」をテーマとし、社会学を中心とするファン研究に学ぶ。前半では、様々なジャンルのファンについての文献を毎回通読し、それについての解説とグループワークを行う。後半では、受講生がファンについての個人発表を行い、それを元にディスカッションを行う。
ツール	✓ WebClass ✓ Webex □ Zoom □ Mediasite □ YouTube □ LINE □ その他()
ある コマの授業プラン	<p>○導入 前回授業の振り返りと学生コメントへのフィードバックを動画で行い、今日の授業課題を説明</p> <p>○課題学習 WebClass に公開した文献を各自講読</p> <p>○課題作成 文献についての設問に答える、コメントシートに疑問点を記入し提出</p>
工夫した点	<p>文献の解説はレジュメを公開し、音声付きの動画で行った</p> <p>WebClass のコメントシートについては、リプライ動画を毎回作成し、出来る限り各々のコメントに答えるようにした</p>
今後の改善点	論文の通読になれていない学生のために、読み方のポイントをまとめた補助教材を準備する教材となる文献を増やし、学生が選択できるようにすることで、さらなる興味関心を掘り起こしたいと考えている

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

コメントへのリプライや解答解説は、学生が授業に参加している感覚を得るために非常に重要であると感じた。出来る限り音声や動画などでリプライを行うことが望ましいと思われる。

経済理論・経済史特殊講義 B

担当教員	宇仁 宏幸
対象	経済学部経済学科 2,3,4
受講者数	120

授業の概要	本科目では、主要国の経済制度はどのように違うのか、制度間にどのような補完性があるのか、日本の制度は近年のグローバル化のなかでどのように変化しているのかを理解し、グローバル企業で働くための基礎知識を習得することを目的とする。また、本科目では、19世紀初めに資本主義が確立して以降、今日に至るまで世界の経済と制度は、どのような歴史的転換を遂げてきたかを理解し、今後の世界の動きを予測するための基礎知識を習得することを目的とする。
ツール	✓ WebClass □ Webex □ Zoom □ Mediasite □ YouTube □ LINE □ その他()
ある1コマの授業プラン	○導入 前回授業の振り返りと今回授業とのつながりの説明、今日の授業構成と目標 ○講義(資料の文書ファイルと補足説明の音声付き動画) 今日の授業内容についての解説 ○まとめ 理解度の確認テスト(webclassのテスト)
工夫した点	学生相互の意見交換の機会としてWebClassのチャット機能を活用している。 毎週、通常授業で口述する内容を、ほぼそのまま文章化した授業資料(A4で約10ページ)を作成し、アップロードしている。 文章と図表の授業資料を補足説明する15分程度の音声付き動画を、毎週作成し、アップロードしている。
今後の改善点	より理解しやすくなるように、内容と文章の見直しを図りたい。

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

広告心理学

担当教員	長岡 千賀
対象	経営学部マーケティング学科 3,4
受講者数	185人

授業の概要	テレビや新聞、インターネットにおける広告、街頭ビジョンでの広告や駅・車内広告、携帯電話におけるメール広告など、私たちの身の回りは広告であふれています。では広告は、私たちの心理にどのように影響し、私たちの行動をどのように変えるのでしょうか。また、広告の送り手はどのような意図でどのような広告表現を用いているのでしょうか。本講義ではこうした観点について、研究データや理論に基づいて解説します。
ツール	✓ WebClass □ Webex □ Zoom □ Mediasite □ YouTube □ LINE ✓ その他 (Dropbox 講義動画や配布資料、補足動画リンク集 (Word 文書) をまとめて置いておくために使用。)
ある1コマの授業プラン	以下、オンデマンドの講義動画の授業プラン ○導入 前回授業の振り返りと、今日の授業構成と目標 ○講義 今日の授業内容についての解説 ○まとめ まとめ(その後、基礎的テストを受験してもらう)
工夫した点	・講義動画は Dropbox に置き、その URL を学生に伝える WebClass で動画を1つずつ教材として並べる場合、アップロードする非常に時間がかかり、また教材が長々と並びます。一方で、Dropbox (動画のストリーミング配信ができます) の1つのフォルダに動画をまとめて置き、フォルダの URL を学生に伝えるようにすると、アップロードの時間が随分短縮され、また教材の場所がわかりにくくなるのが少し防げます。 このとき、動画のファイル名の先頭に、230101 (左から順に、火曜、3限、第1回講義用の、1つ目の動
今後の改善点	1つあたりの動画が40分くらいと少し長いので、より短くする方向で考えたい

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

WebClass に Dropbox を組み合わせると、資料整理がずいぶん楽になります。おすすめいたします。

追手門UI論E

担当教員	東田 充司
対象	基盤教育機構初年次科目 1,2,3,4
受講者数	214名

授業の概要	追手門学院の自校史を学ぶとともに、追手門学院の今を学ぶ。学内外からのゲストスピーカーによる講演、追手門学院大学を紹介するパワーポイントスライドの作成などを通じて、今の学院の姿を再発見する。授業終了時には、自身が授業についてまとめたラーニング・ログ（学修記録）を提出する。
ツール	✓ WebClass □ Webex □ Zoom ✓ Mediasite □ YouTube □ LINE □ その他()
ある1コマの授業プラン	<p>○導入 前回授業の振り返りと学生コメントへのフィードバック、今日の授業構成と目標</p> <p>○講義 今日の授業内容についての解説</p> <p>○まとめ まとめ、次回の授業予告</p> <p>※この授業は、オーソドックスな流れです。</p>
工夫した点	<p>200名を超える授業でありながら、LMSにより毎回全員の提出課題内容を受講生間で共有している。</p> <p>毎回授業後に提出するラーニング・ログ（学修記録）をはじめとする授業内課題や事後課題といった提出物の全てを、氏名を省いた毎回全員分を WebClass 上で共有し、全員の学修成果を確認した。手順が簡単であり、対面授業でのグループワークを一部ではあるが補完できる。さらにこの積み重ねにより、学習意欲を喚起し提出課題内容のレベルアップを図ることができた。</p>
今後の改善点	<p>経験から 300 字程度までであれば 200 人分の課題すべてを受講生に読ませる効果は大きいですが、これ以上文字数が多くなると現実的に読み切るだけの集中力が続かず効果が薄れる結果となった。それぞれへのコメントも併記する試みも行ったが、否定的な評価の扱いが難しかった。</p> <p>次回からは、全部の課題公開に拘らず、その効果を確認していきたい。</p>

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

オンライン授業だからこそ可能な新たな教育実践は、受講生に新鮮な驚きや興味・関心をもたらすことがあります。ぜひ積極的に挑戦してみてください。

行政法A

担当教員	百嶋 計
対象	経営学部経営学科 2,3,4
受講者数	200

授業の概要	公法である行政法に係る理論のうち総論についての講義。行政活動のルールや、行政活動によって国民が権利を侵害された場合にどう救済を求めるかなどについて論じるもの。
ツール	✓ WebClass □ Webex □ Zoom □ Mediasite □ YouTube □ LINE □ その他()
ある！コマの授業プラン	○導入 前回授業のポイント説明 ○確認テスト 前回授業の内容についての確認テスト (動画を見ながら行ってもよいし、いったん中断して行ってもよい。またオンライン授業視聴後に行ってもよい。) ○講義 本日のテーマについての講義
工夫した点	対面授業の際に配付していたものよりも、更に詳細なものにしたレジュメをアップし、それを見ながら動画を視聴する授業とした。 自宅や研究室で撮影した動画であったので、必要に応じ小型のホワイトボードを用いてキーワードを「板書」して示した。 また、基本的に各回、WebClass を用いてオンラインで確認テストを行うとともに、期末テストも最終回に WebClass で行った。 質問については、WebClass のメッセージ機能で受け付けた。WebClass のメッセージ機能は、学生に対する個別指導にも用いることができた。
今後の改善点	レジュメを作成しアップしたが、今後はホワイトボードに替えてパワーポイントを作成して、動画とともにオンデマンド型で配信することも考えたい。 また、秋学期に他の授業では導入したが、学生相互の意見交換の機会として WebClass のチャット機能を活用することとしたい。 なお、アクセスログによれば動画を視聴していない学生もいたので、きっちり視聴させるような方策を検討したい。

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

本学では充実した学修支援システムがかねてより導入・整備されていまして、慣れると簡単にオンライン授業を実施することができました。

狂言の世界

担当教員	広瀬 依子
対象	国際教養学部国際日本学科 2,3,4
受講者数	113人

授業の概要	日本の伝統演劇である狂言について、歴史・特色、表現方法、作品の内容、登場人物の役割、劇世界などを学ぶ。
ツール	✓ WebClass □ Webex □ Zoom ✓ Mediasite ✓ YouTube □ LINE □ その他(履修者はパワーポイント音声付き動画ファイルを視聴した後、指定した外部サイトにアクセスする。そこで資料となる動画視聴を行う。)
ある！コマの授業プラン	◎導入 前回授業の振り返り、Q&A に掲載しきれなかった質問への回答 ◎講義動画視聴 今回の授業内容について解説 ◎資料視聴 今回の授業内容に沿った動画を外部サイト(主に YouTube)で視聴 ◎ミニツツペーパーの提出
工夫した点	ミニツツペーパーで寄せられた質問をピックアップし、Q&A として次回授業時に WebClass に掲載している。
今後の改善点	説明を丁寧に行うことを心がけていたら、講義動画の所要時間が 35 分ほどになってしまう。履修者の集中力を考えると、次回からは 30 分以内におさめたい。もしくは、20 分間の動画を 2 本配信することも検討中である。

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

パソコン不調やレポート・試験等についての質問にはできるだけ早く回答すると、履修生は安心する。

福祉心理学

担当教員	益田 啓裕
対象	心理学部心理学科 2,3,4
受講者数	252名

授業の概要	<p>福祉心理学とは、乳児から高齢者に至る、様々な立場に置かれた人たちの「しあわせ」の実現のために行われる心理学的な技術・知識の総称を指す。</p> <p>この授業では、福祉心理学が対象とする人々の特性や、求められる心理的支援、前提とする概念（ウェルビーイング、ノーマライゼーション等）、福祉制度について解説した。</p> <p>また、福祉現場において生じる問題及びその背景、心理社会的課題及び必要な支援、虐待についての基本的知識等への理解を深め、児童福祉施設、児童相談所、高齢者福祉施設、市町村の公的機関等における心理的支援を具体的に解説した。</p>
ツール	✓ WebClass □ Webex □ Zoom ✓ Mediasite ✓ YouTube □ LINE □ その他()
ある1コマの授業プラン	<p>○導入（動画1） 前回の授業の感想へのフィードバック、お互いの近況の紹介、授業の動機づけを高める問いかけ（ワークシートに記入させる）。動画は教員の顔が映ったものを用意する。</p> <p>○展開（動画2） 授業内容を動画で解説する。動画はパワーポイントを動画にしたもの。20分前後の動画を複数ファイル作成する。</p> <p>○まとめ（動画3） まとめとして他の動画サイト、授業時間外課題、理解度を確かめるワークを提示する。</p>
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生の集中力が継続できるように、動画を分割し、各動画20分程度のを複数作成した。 ・授業の最初の動画では、教員が顔を出して、近況や受講生の質問に答えるパートを設けた。 ・各動画の最後にはできる限りワーク等を入れて、飽きないように工夫した。 ・各回の受講生が記入するワークシートを用意し、受講生が回答したワークシートを課題としてWebClassにアップロードさせるようにした。 ・ワークシートの最後には質問や受講生の近況など自由に書いてよいと伝え、受講生の授業への反応については、できる限りメールで回答した。
今後の改善点	<p>音声聞き取りにくい、という意見が受講生からあった。</p> <p>今後は高性能のマイクを使うなどをして、聞き取りやすい音声を届けられるようにしたい。</p>

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ

動画による授業は相手の顔が見えにくいですが、質問や感想へのフィードバックをこまめにするこゝで、受講生の満足度や理解度は上がるように感じています。すべての時間帯ではなくてもよいと思いますが、どこかで教員が顔を見せる映像があると、受講生の安心感や親近感が高まるようです。

産業組織心理学

担当教員	宮川 裕基
対象	心理学部心理学科 2,3,4
受講者数	252名

授業の概要	産業と組織に関連する心理学的諸問題について理解し、適切な対応をとるために必要な知識の習得を目指す授業。
ツール	✓ WebClass □ Webex □ Zoom ✓ Mediasite □ YouTube □ LINE □ その他()
ある コマの 授業プラン	<p>○導入 動画にて、前回の授業の重要な点を説明、今回の授業の概要と記述課題を説明</p> <p>○講義 学生は授業資料をもとに、小テストに取り組み、授業内容を学習</p> <p>○まとめ 記述課題に取り組む</p>
工夫した点	<p>公認心理師の受験資格に関わる授業であるため、毎回の授業では小テストを行うようにしている。また、授業内容を深く理解するように、日常生活での実体験について授業内容を踏まえて回答するような記述課題(字数制限なし)を毎回示している。</p> <p>授業は動画で前回の内容で特に重要な点を紹介し、その後本日の概要について説明し、動画内で記述課題を出している。動画内で記述課題を示し、提出ボックスでは課題を記さない(提出ボックスでは、本日の記述課題について回答してください、とのみ記述)ことで、動画へのアクセス・動画を見る時間を増</p>
今後の改善点	フィードバック資料を毎回提示していましたが、アクセス数は動画・授業資料の半数程度でした。フィードバック資料へのアクセスを増やす工夫をしていきたいと思っています。

これからオンライン授業に取り組まれる先生方へのメッセージ